

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成24年 6月28日

大分県知事 殿

提出者 松尾建設株式会社 大分支店  
 住 所 大分県大分市新貝3-20  
 氏 名 支店長 大石 裕充  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
 電話番号 097-556-0161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、23年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東九州道(佐伯~蒲江)古市橋上部工外1橋工事作業所
事業場の所在地	大分県佐伯市大字上岡、長谷地内 他
事業の種類	0611 一般土木建築工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成24年 3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,004.0 t	全処理委託量	1,004.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	982.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	12.0 t

※事務処理欄

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																
①現状	【前年度(平成22年度)実績】															
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アス・コン塊	その他がれき類	廃プラスチック類	金属くず	安定型混廃	建設汚泥	木くず	繊維くず	廃石こうボード	管理型混廃				合計
	排出量	466.9 t	168.0 t	13.0 t	4.7 t	1.5 t	11.4 t	435.6 t	18.6 t	1.7 t	10.2 t	9.5 t	t	t	t	t
②計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アス・コン塊	その他がれき類	廃プラスチック類	金属くず	安定型混廃	建設汚泥	木くず	繊維くず	廃石こうボード	管理型混廃				合計
	排出量	400.0 t	150.0 t	10.0 t	5.0 t	2.0 t	5.0 t	400.0 t	15.0 t	2.0 t	10.0 t	5.0 t	t	t	t	t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																		
①現状	【前年度(平成22年度)実績】																	
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アス・コン塊	その他がれき類	廃プラスチック類	金属くず	安定型混廃	建設汚泥	木くず	繊維くず	廃石こうボード	管理型混廃				合計		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	0.0 t
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アス・コン塊	その他がれき類	廃プラスチック類	金属くず	安定型混廃	建設汚泥	木くず	繊維くず	廃石こうボード	管理型混廃				合計		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	0.0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																		
①現状	【前年度(平成22年度)実績】																	
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アス・コン塊	その他がれき類	廃プラスチック類	金属くず	安定型混廃	建設汚泥	木くず	繊維くず	廃石こうボード	管理型混廃				合計		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	0.0 t
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アス・コン塊	その他がれき類	廃プラスチック類	金属くず	安定型混廃	建設汚泥	木くず	繊維くず	廃石こうボード	管理型混廃				合計		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	0.0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	0.0 t

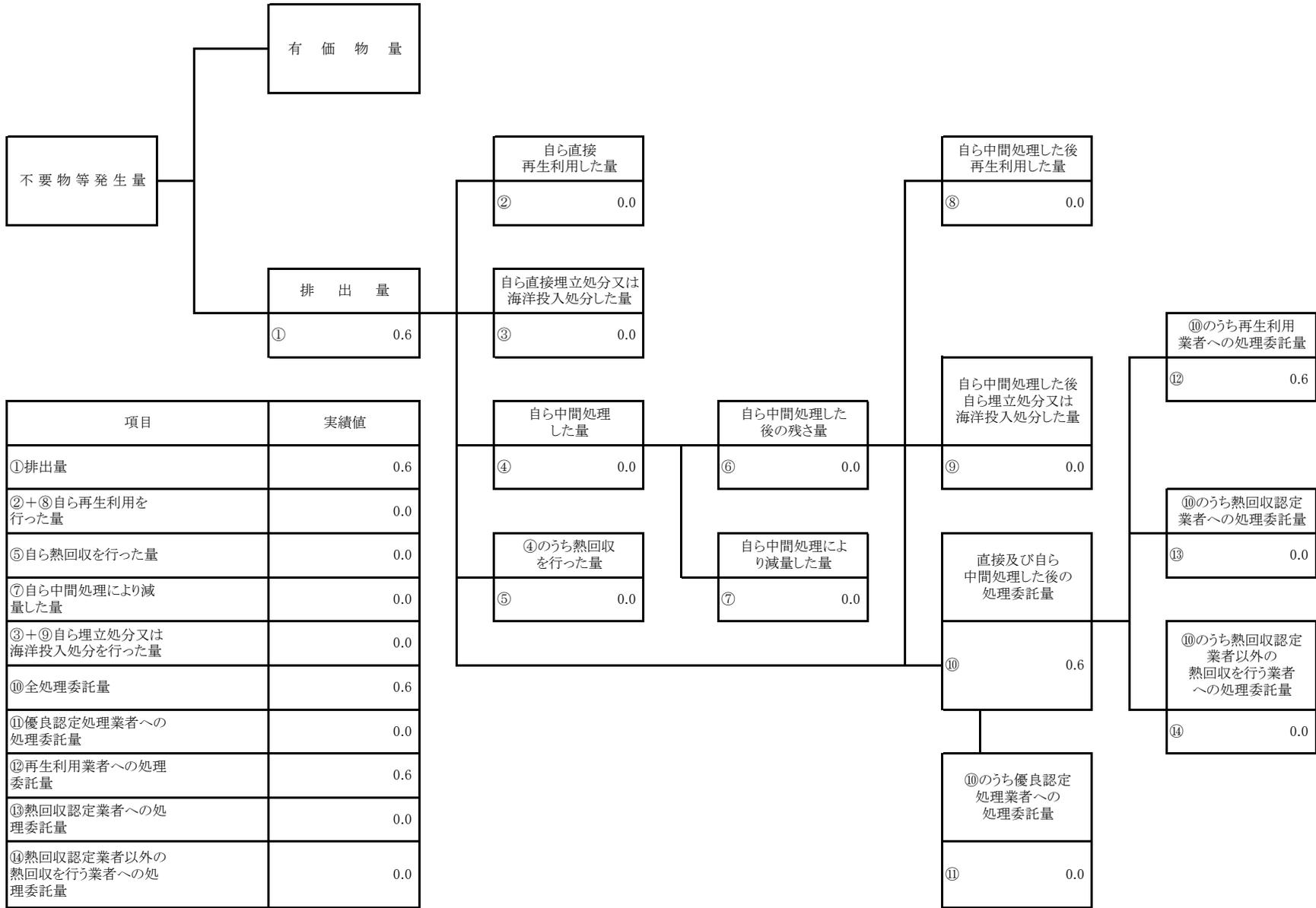
様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																		
①現状	【前年度(平成22年度)実績】																	
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アス・コン塊	その他がれき類	廃プラスチック類	金属くず	安定型混廃	建設汚泥	木くず	繊維くず	廃石こうボード	管理型混廃				合計		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	0.0 t
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アス・コン塊	その他がれき類	廃プラスチック類	金属くず	安定型混廃	建設汚泥	木くず	繊維くず	廃石こうボード	管理型混廃				合計		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	0.0 t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																		
①現状	【前年度(平成22年度)実績】																	
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アス・コン塊	その他がれき類	廃プラスチック類	金属くず	安定型混廃	建設汚泥	木くず	繊維くず	廃石こうボード	管理型混廃					合計	
	全処理委託量	466.9 t	168.0 t	13.0 t	4.7 t	1.5 t	11.4 t	435.6 t	18.6 t	1.7 t	10.2 t	9.5 t	t	t	t	t	1,141.1 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	0.0 t
	再生利用業者への処理委託量	466.9 t	168.0 t	0.0 t	0.0 t	1.5 t	0.0 t	435.6 t	18.2 t	0.0 t	7.9 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	1,098.1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	1.5 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	1.7 t	0.0 t	7.4 t	0.0 t	t	t	t	t	10.6 t	
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アス・コン塊	その他がれき類	廃プラスチック類	金属くず	安定型混廃	建設汚泥	木くず	繊維くず	廃石こうボード	管理型混廃					合計	
	全処理委託量	400.0 t	150.0 t	10.0 t	5.0 t	2.0 t	5.0 t	400.0 t	15.0 t	2.0 t	10.0 t	5.0 t	t	t	t	t	1,004.0 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	0.0 t
	再生利用業者への処理委託量	400.0 t	150.0 t	5.0 t	0.0 t	2.0 t	0.0 t	400.0 t	15.0 t	0.0 t	10.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	982.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t	t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	3.0 t	0.0 t	2.0 t	0.0 t	0.0 t	2.0 t	0.0 t	5.0 t	0.0 t	t	t	t	t	12.0 t	

計画の実施状況

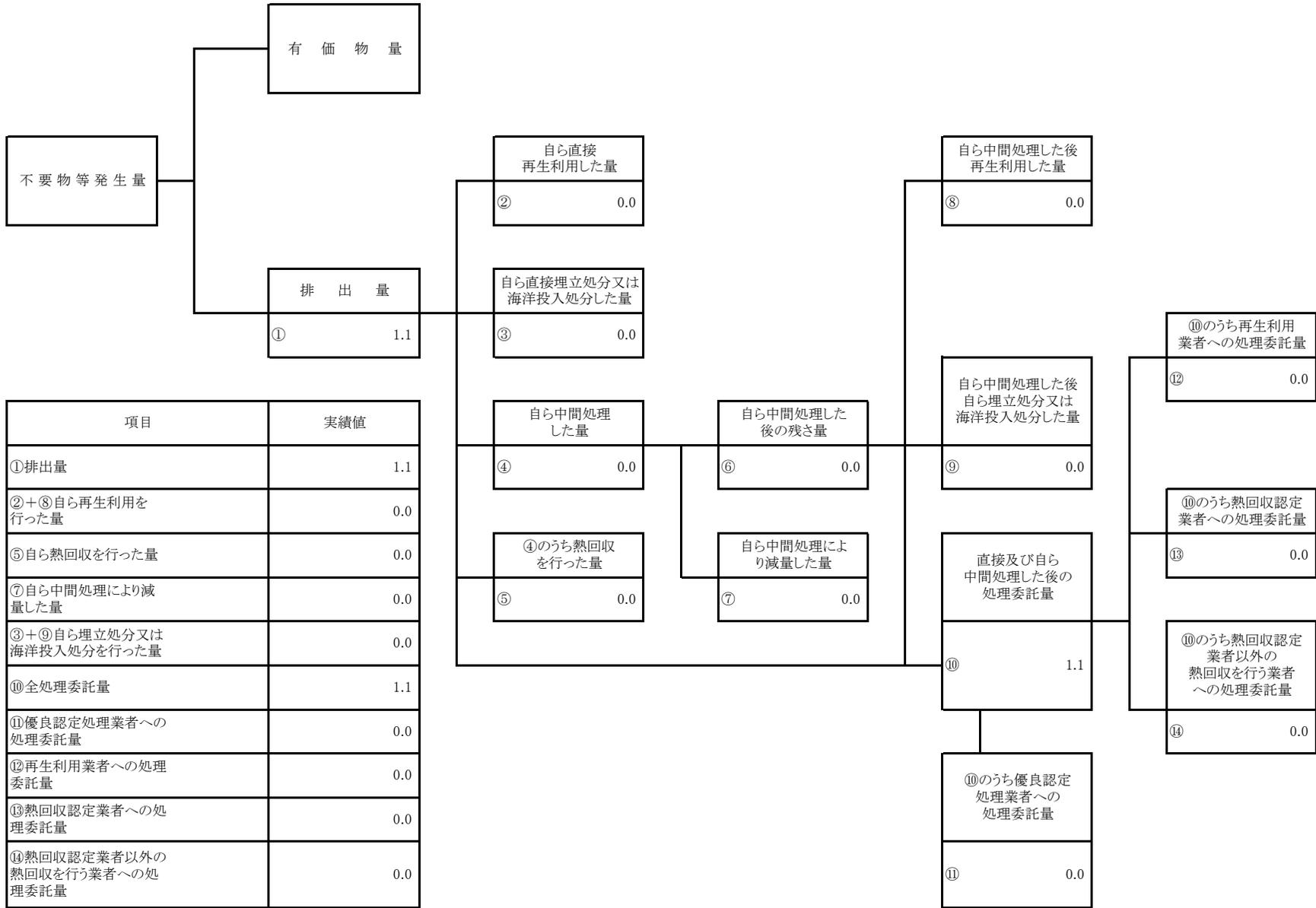
(産業廃棄物の種類: 木くず)



項目	実績値
①排出量	0.6
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用者への処理委託量	0.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混合廃棄物)



項目	実績値
①排出量	1.1
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	1.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の1第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。